

地域の魅力再発見

岩日タイムズ

発行者 日本大学
岩瀬 高等学校
猿山 折 竜哉
相野谷 佐藤 叶乃

桜川市の魅力を届ける SAKURAフェスティバル

4月13日、桜川市総合運動公園において「第4回SAKURAフェスティバル」が開催されました。当日は天気にも恵まれ、暖かい気候のもとで、本校のチアリーディング部がステージで演技を披露しました。



元気に踊るチアリーディング部

中島萌恵さん（3年）は「今回は2回目の参加で楽しくできてよかったです。今後は部員を増やしてダンスをもっとそろえていきたい」と意気込みを語りました。他にも、サクラ姫コンテストやピョンゴ大会などイベントも盛りだくさん。サクラ姫コンテストでは、選ばれた4名が持ち時間を使得ってアピールし、審査員から



部員の笑顔が溢れ、息のあったパフォーマンスに対し、来場者の大きな拍手と歓迎に包まれていました。ダンスは学年ごとに考えて構成したそうです。



国体担当の嶺さんに取材しました



また他にも、桜川市は10月に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」でライフル射撃部門の会場となっています。マスクोट「いばラッキー」の隣にある国体PRブースではおもちゃの銃を使って得点を競うゲームがあり、得点に応じてボールペンやキーホルダーなどがもらえました。桜川市職員で企画課の嶺勇司さんにインタビューしました。嶺さんは「たくさんの方に国体について知ってもらい、興味を持ってもらいたい」と熱く語ってくれました。

皆さんも何らかの形で国体に参加してみたいか、はいかがでしょうか。（猿山）



部員も挑戦し、見事に景品獲得

今回はSAKURAフェスティバルを取材しました。ステージでダンスを披露したチアリーディング部はとも明るく、いっぱい元気をもらいました。取材した国体ブースでは、おもちゃではありましたが、ライフル射撃体験を通して実際の競技の雰囲気を知ることができてとても楽しかったです。いよいよ開催まで半年を切った国体。みんなでボランティアや選手の応援など、共に大会を盛り上げましょう。（相野谷）

編集後記